

## 市長あいさつ



皆さん、こんにちは。

ジュニア議員の皆さん。いよいよ待ちに待った、そして大変長い期間、研修を重ねてきたその成果を、いよいよこの本会議場で迎えることができるわけでございます。あらためて皆様方のその努力に対し、敬意を表したいと思います。

今日は傍聴席が満杯です。普段はこんなには一杯にならないですね。それだけ、普段よりも皆さんのジュニア未来議会に、それだけ多くの方が期待をしていると言えるのではないのでしょうか。

中には本市の議員が何人か座っていらっしゃると思いますが、皆さんには是非緊張して、貴重なこの体験を実感していただきたいと思います。

なかなか普通では、この議場に座って、そしてなおかつ質問をする、答弁を受けるといった機会は得られないと思います。そういう機会だからこそ、是非緊張をしていただきたいと思います。

宇都宮市の課題を簡単にお話いたします。

宇都宮市は、日本の他の市区町村と同じように、少子化と高齢化の二つが大きな大きな課題です。

少子化はご存知のように、子どもをつくる方が減って行ってしまった。そのために、宇都宮市の45万人の人口も、2011年をピークにこれからどんどん減っていきます。当然、それだけ活力がなくなってしまうということです。そして、宇都宮市という行政においては税収が減って行ってしまいうこととなります。

その一方で、高齢化社会が待ち受けています。2020年には、4人に1人が65歳以上という高齢化社会を、この宇都宮市も迎えることとなります。皆さんがだんだん大人に近づく、そして大人になってから、そうした高齢化社会がどんどん大きく広がっていくこととなります。宇都宮市だけではなく、日本の国のために、今まで苦勞して懸命に働いてきた高齢者の方々に、これから住みやすい社会をつくっていくということは、当然、我々現役にその役割と責任があります。そのため、お金もたくさん必要となってきます。

少子化で税金の収入が減る、そして65歳以上の方々が増えていく中で、そうした方々にも十分な社会をつくっていくために、お金がどんどん必要になります。入ってくるお金が減る、そして出て行くお金が増えていくという時代になっていきます。高齢化への対応だけではなく、様々な分野でお金が必要となっていきます。減っていく中でお金が必要になる。そのためには、何をすれば良いか。

やはり、人口が減らないように、今住んでいる方々が、皆さんも含めて、これからも宇都宮に住み続けていこうというまちをつくっていかねばなりません。それと併せて、宇都宮以外に住んでいる方々にも、どんどん宇都宮の方が住みやすいから、宇都宮の方が暮らしていて楽しいからと、

そういうまちをつくって宇都宮に移り住んでいただく。そうすることによって人口を維持していくことができるはずだと思います。そうすることによって、収入をなるべく減らさないで、皆さんに行っている住民サービス、行政サービスの質を低下させないで、これからも続けていく、そういう魅力あるまちをつくっていかねばなりません。

魅力あるまちには、様々な条件があると思います。そうしたものを議員の皆さんと我々執行部は、互いにこの議会の中で話し合いをしながら、より効率の良い予算の使い方、そして、いかに魅力あるまちをつくるか、それを常に議論しているわけです。

そうした前提のもとで、皆さんにはこの本会議場で、ジュニア議員として、是非質問をしていただきたいと思います。また、最後にはお時間をいただいて、講評をさせていただきたいと思いますが、これからも宇都宮市は、議員の皆さんと、皆さんが大人になってからも、そして皆さんの子が、あるいは孫がいつまでも楽しく、そして愉快地に生活ができるような、そのような宇都宮というまちをつくっていきます。決して、皆さんのお子さんや、あるいは後に続く子どもたちが、負の遺産、マイナスの遺産を受け取らないように、これからも持続可能な、いつまでも宇都宮はきちんと活力をもって、楽しいまちであるという、そういうまちをつくっていくということをお誓いいたしまして、冒頭のご挨拶といたします。

今日は頑張ってください。ありがとうございました。